

試合番号 : 324		試合会場 : 宝来屋郡山総合体育館				観客数 : 1,050	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:26		試合時間 : 01:26		主審 : 服部 篤史	
副審 : 伊藤 薫		通算		3勝 1敗		通算	
デンソーエアリービーズ		ポイント : 9		25 第1セット 11		PFUブルーキャッツ	
監督コメント	今週のホームゲームを二連勝出来たことは、チームとしてとても嬉しいニュースになりました。サーブとブロックとオオをこれからはもうチームとして磨いて、どのチームにも負けないものを作りたいです。二日間、たくさんの方々の熱い声援から力を頂きました。来週以降も勝っているように準備をしていきます。今日はありがとうございました。		3	25 第2セット 22		0	監督コメント
				25 第3セット 17			
				第4セット			
				第5セット			
<p>要約レポート</p> <p>連勝を伸ばしたいデンソーエアリービーズと、今シーズン初勝利を狙うPFUブルーキャッツの対戦。第1セット、デンソーはブライマーのスパイクや工藤のバックアタックで得点を重ね、9-2と大きくリードする。流れを変えたいPFUは合屋、山下を2枚替えて起用し、ブレイクに成功する。しかし中盤以降は、デンソーの高いブロックがPFUの追撃を許さず、セットを先取る。第2セット、序盤からデンソー・ブライマーとPFUアコスタの打ち合いとなり、一進一退の攻防が続く。デンソーは18-18のタイムアウト後、中元のスパイクで流れを呼び込むと、その後も工藤が3連続得点をあげる。最後はデンソー奥村がクイックを決め、セットを連取した。第3セット、6-2のデンソーリードの場面から、PFUはこのセットから起用の綿引が連続でスパイクを決めるなどし、9-9の同点に追いつく。しかし終盤にかけて、デンソーは工藤、ブライマーのスパイクや田代のツーアタック、サービスエースなどで得点を重ねる。最後はPFUのスパイクがアウトとなり、デンソーがホームで2連勝を手にした。</p>							

試合番号 : 325		試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイंक体育館 (姫路市立中央体育館)				観客数 : 670	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:15		試合時間 : 02:15		主審 : 内藤 聡美	
副審 : 山本 和良		通算		1勝 3敗		通算	
ヴィクトリーナ姫路		ポイント : 3		27 第1セット 29		NECレッドロケッツ	
監督コメント	ホームゲーム2日間、たくさんのご声援ありがとうございました。また、開催にご尽力くださった関係者の皆様、大変ありがとうございました。昨日の反省を活かして試合のスタートから、選手たちが熱をもってプレーしてくれて、昨日よりも良い内容のゲームができたと思います。ただ、数字の上ではほぼ互角の戦いの中、各セットともあと一歩のところが数字に表れない部分の差でもあるし、そういうプレーを確実にやっているNECレッドロケッツに見習うべきところがたくさんあると勉強になった試合でした。身長が低く高くないチームなので、そういった点数に表れないプレーを普通にこなしてリーグで1番になれるように練習を重ねていきたいです。引き続き、多くのご声援よろしくお願い致します。		1	27 第2セット 25		3	監督コメント
				22 第3セット 25			
				26 第4セット 28			
				第5セット			
<p>要約レポート</p> <p>ホームゲーム2日目となった、ヴィクトリーナ姫路はNECレッドロケッツと対戦し、全セット30分以上の長い試合となったが3-1でNECが勝利した。第1セット、NEC山田の連続ポイントから姫路・貞包の連続サービスエース、NECはネリマンにトスを集め一進一退の攻防が続いた。姫路は田中、孫本のライト攻撃で大きくリードし、NECの攻撃を荒谷がブロックポイントをする。NECは古賀のアタックでデュースまで追い上げ島村の移動攻撃で逆転し第1セット先取る。第2セット、NEC山田のサービスエースからリードで進む。中盤、姫路は前キャプテンの金彩を投入すると、連続でバックアタックが決まり、前衛も力強いアタックでデュースに持ち込み田中がライトから決めセットカウントを1-1とする。第3セット、姫路は田中、金彩がアタックを決めるもNEC古賀が強弱のあるアタックやブロックを決め終始リードしNECが2-1とした。第4セット、長いラリーが続く、両チームとも効果的なブロックが続く中、姫路・金彩、貞包、田中、NECは古賀、山田が得点しデュースまでもつれ込んだがNECが勝利した。</p>							

試合番号 : 326		試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイंक体育館 (姫路市立中央体育館)				観客数 : 350	
開始時間 : 16:10		終了時間 : 17:29		試合時間 : 01:19		主審 : 明井 寿枝	
副審 : 本間 明		通算		0勝 4敗		通算	
トヨタ車体クインシーズ		ポイント : 1		21 第1セット 25		久光スプリングス	
監督コメント	つらい結果となったが受け取って改善、修正し成長していく為の糧として不断の努力を続けたい。ソロカイトがチームに馴染んできた。ミドルも仕事をしている。今日の試合も序盤からサーブが機能して連続得点する場面もあったが、ラリーになった時に先に自失が出てしまい、ゲームの流れを手放してしまった。現状を冷静に受け止め、勝利に必要な実力をつけて巻き返しをはかりたい。本日も応援ありがとうございました。		0	20 第2セット 25		3	監督コメント
				21 第3セット 25			
				第4セット			
				第5セット			
<p>要約レポート</p> <p>連勝で波に乗りたい久光スプリングスと初白星を目指すトヨタ車体クインシーズの対戦は、久光・岩坂のサービスで始まった。第1セット、久光はレフトから野本の強烈なスパイクやアキンラデウオのブロックでリードするが、トヨタ車体も鳴原のサービスエース、ソロカイトのライトからの攻撃で追いつける。終盤に入り、久光は井上(愛)に代わった座安の好リシーブから築いて加点し、25-21で先取る。第2セットも久光は高いブロック陣がトヨタ車体の攻撃を阻みゲームを優位に進める。トヨタ車体も荒木のクイックや数田のサービスエースで応戦するが、25-20で久光が連取る。第3セットの後は無いトヨタ車体は、山上の左右後への多彩なトス回しで流れをつかもうとするが、久光もセッター井上(美)を中心に一歩も譲らない。後半、トヨタ車体・ソロカイト、久光・アキンラデウオ両選手の打ち合いの末、最後は久光・アキンラデウオのサービスが決まり、セットカウント3-0で久光が勝利した。</p>							

試合番号 : 327		試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)				観客数 : 1,100	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:04		試合時間 : 02:04		主審 : 國頭 亮太	
副審 : 北村 友香		通算		3勝 2敗		通算	
岡山シーガルズ		ポイント : 9		25 第1セット 19		日立リヴァーレ	
監督コメント	2セットの途中から相手のリズムに合わせてしまい、本来の変則バレーが機能しなくなってしまった。3セット目に入った前半リードされた時、チーム内で前後のちがはぐさを修正できたことが今回の勝利につながった。今日の2セット目の反省を来週に生かし、さらに飛躍したシーガルズを見ていただけるよう、頑張っていきたい。コロナ禍の中にも関わらず、たくさんのお声援ありがとうございました。		3	27 第2セット 29		1	監督コメント
				25 第3セット 19			
				25 第4セット 13			
				第5セット			
<p>要約レポート</p> <p>ホームで二連勝を狙う岡山シーガルズと、連敗を避けたい日立リヴァーレの一戦。第1セット、中盤までは一進一退の攻防が続くが、岡山の金田の巧打から流れをつかみ岡山が25-19でセットを先取った。第2セット、前半、日立が岡山の堅い守りを崩し優勢に進めた。岡山も日立の隙をついたプレーで一旦は逆転するが、日立もそこから粘りを見せ、両チーム好リシーブ連続で点を取り合う緊迫した展開になった。しかし最後は日立が押し切り29-27でこのセットを奪った。第3セット、前半は日立がリードするも、終盤、岡山は金田の巧打で得点を重ね、25-19でこのセットを取り返す。第4セット、流れに乗った岡山が前半から粘り強いリシーブからの早い攻撃で終始リードを保ち、このセットも25-13と大差で奪い、ホームゲーム二連勝を飾った。</p>							

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。



E2 本日の試合結果一覧

開催日 2020/11/01

2020-21 V. LEAGUE DIVISION1 WOMEN

試合番号 : 328		試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)				観客数 : 750				
開始時間 : 15:50		終了時間 : 17:23		試合時間 : 01:33		主審 : 種元 桂子		副審 : 千代延 靖夫		
JTマーヴェラス		通算 4勝 1敗 ポイント : 12		25 第1セット 21		埼玉上尾メディックス		通算 2勝 4敗 ポイント : 7		
監督コメント	今日の試合では、サーブが勝利の鍵となった。効果的なサーブを打つことで、私達のブロックとディフェンスが機能した。オフェンス面では、両ミドルブロッカーの活躍により、サイドのアタッカーも生きた。今週2連勝できたことは自分たちの自信に繋がった。会場にお越しくださったファンの皆様、画面越しで応援してくださった皆様、2日間ありがとうございました。来週も精一杯戦います。			3	25 第2セット 21		0	本日は、昨日の敗戦から気持ちを新たに臨めることができた。負けはしましたが、昨日より内容の良い試合をしてくれた選手を讃えたい。私達の目標のリーグ優勝に向けて、昨シーズンの上位チームとの対戦で、適用する点、課題として取り組んでいく点が明確となりました。修正点は多いですが、1つ1つクリアして来週の京都でのホームゲームで更に成長したメディックスにご期待ください。		
					25 第3セット 22					
					第4セット					
					第5セット					
					監督コメント					
要約レポート 連勝して勝ち星を重ねたいJTマーヴェラスと連敗を避けたい埼玉上尾メディックスの一戦。第1セット、JTはセッター萩井のトス回しからの多彩な攻撃で得点を重ねると、埼玉上尾も吉野やジョセフがスパイクを決め応戦する。中盤、JTは林や芥川のスパイクでリードを奪うと、田中や途中入った橋井のサービスエースでさらにリードを広げ、最後はドルズの強打が決まりセットを先取る。第2セット、JTは小川の連続ブロックで勢いに乗る。攻撃のリズムを変えたい埼玉上尾は、山岸の好レシーブからこのセットから入った田川が攻撃を組み立て、中盤まで一進一退の攻防が続く。JTは橋井のスパイクでリードを奪うと、柴田のサービスエースでさらに勢いに乗る。最後は田中の巧みなスパイクが決まり、このセットも連取する。第3セット、後がない埼玉上尾は吉野や内瀬戸の軟打を織り交ぜた攻撃で一歩リードするが、JTは小川のブロックなどで応戦し、白熱した展開となる。終盤まで両者譲らず接戦となるが、最後はJT田中のスパイクやドルズのブロックで粘る埼玉上尾を突き放し、3-0でこの試合に勝利した。										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント			
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
				監督コメント					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント			
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
				監督コメント					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント			
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
				監督コメント					
要約レポート									